

オフィスでの取り組みと環境教育

従業員一人ひとりが、社会の一員であるという認識のもと、省エネ活動や環境教育などをおして、積極的に環境保全を推進しています。

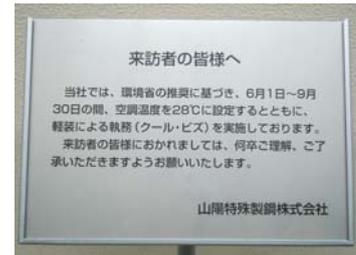
オフィスでの取り組み

省エネルギー活動

6月から9月の間の冷房温度を28℃に設定(クール・ビズ)したり、昼休みの電気消灯・パソコンの電源オフ、印刷枚数低減等に取り組むなど、省エネ活動を推進しています。

一般廃棄物の分別回収

ダンボールや紙ごみは、回収ボックスを設け分別回収を行い、リサイクル業者へ売却しています。また、空き缶・ペットボトル・プラスチック容器等も分別回収を徹底し、再生利用に寄与しています。



環境教育

階層別研修や啓発活動の実施

新入社員教育、班長教育など、階層別環境研修会を定期的実施しています。また環境保全への意識啓発の一環として、従業員による環境家計簿の作成を実施しています。

公害防止管理者などの環境保全に関する資格取得を推進するために報奨制度も設置しています。



環境保全コスト

環境省のガイドラインを参考に、環境保全活動に要したコストを示します。

環境保全コストの分類	主な内容	投資・費用(単位:百万円)	
		2007年度	2008年度
1. 事業エリア内コスト	環境負荷抑制活動費 ・ 環境保全に係る投資 ・ 集塵設備、水処理施設等の維持費 ・ 省エネルギー施設の維持費 ・ 副産物の処理及びリサイクル費	2,246	2,152
2. 上・下流コスト	燃料転換に関わる設備投資(減価償却費を含む)	698	313
3. 管理活動コスト	環境マネジメントに関する諸活動費	203	193
4. 研究開発コスト	環境関連技術の研究開発費	23	22
5. 社会活動コスト	緑化活動・美化活動費	28	27
6. 環境損傷コスト	汚染賦課金 等	20	19
合計		3,218	2,726